



The service club to the YMCA  
 THE Y'S MEN'S CLUB OF  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2017年10月会報

**主 題 ・ 標 語**

国際会長(IP) Henry J.Grindheim

主 題: " Let Us Walk in the Light-Together " 「共に、光の中を歩もう」  
 スローガン " Fellowship across the borders " 「国境なき友情」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)

主 題: " Respect Y's Movement " 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野 勉 (神戸ポート)

主 題: 2022 年に向け「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」  
 " Healthy mind & healthy body make healthy club "

副 題: 「今あるクラブを充実させ、しょうらいのクラブへ  
 宝(財産)を伝承していこう！」

六甲部部长 杉本 隆人(神戸学園都市)

主 題: 「共感しあい、支えあおう」

Empathy each other, Root y's & YMCA

宝塚クラブ会長 武田 寿子

主 題: 「次世代への継承！」Continuity to the Next Generation  
 地域への奉仕、エネルギーを結集し西日本区大会を  
 成功させよう

今月のテーマ : BF(ブラザーフード資金)、EF  
 なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前の  
 ものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによっ  
 て上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を  
 目指してひたすら走ることです。

(フィリピ3章13-14節)

2017年10月例会

日 時 : 2017年10月11日(水)18:30

場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費 : 会員3,100円、会員外3,500円

ドライバー 吉田 明 青柳美知子

開会点鐘 武田寿子会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 西川 勝久

祈 禱 若林 成幸

ゲスト・ビジター紹介 武田寿子会長

会長報告・委員会報告

会 食

お 話 し

茂木美知子氏 中道京子氏

「こども困に寄り添う」

YMCAニュース

誕生日記念日

閉会点鐘

武田寿子会長

2017/18 役 員	会 長 武田寿子 直前会長 若林成幸 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	Y M C A サービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子・EMC 若林成幸 交 流・ファンド 石田由美子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 青柳美知子 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	今田 稔(14日)
9 月 実 績	例会出席者数 30名 在籍会員数 20名(内功労会員1) 出席会員数 14名 出席率 70.00% メイクアップ(内数) 0名 メネット 3名 コメント・孫メット名、ゲスト・ビジター 13名 例会充足率 150 % B F ポイント 9月 4,600円 累 計 10,050円 にこにこBOX 9月 4,000円 累 計 14,750円 ファンド(物品販売) 13,700円 累 計 21,000円

## 会長のことば

猛暑だった今年の夏も宝塚クラブのワイズたちは元気に乗り切り、部会シーズンとなった秋本番に西日本区大会の宣伝を兼ね皆さんそれぞれに参加しています。どこの部会も個性があり、毎年のことなのに興味深いプログラムを工夫されていることに敬服いたします。

また部会でのアピール合戦もにぎやかで、圧倒される思いです。周年行事も各地で計画されていますが、私たち宝塚クラブも来年3月、30年を迎えることになるので、今までの歴史を振り返り、地域に根付いた必要とされる活動を継続しながら、次へつなげていける工夫をしたいものです。じゃがいも販売、市民クリスマス、チャリティーラン、バザー、大切な行事が続きますが、大野理事のテーマのごとく、さわやか、すこやかと自分の健康をまず第一に、さわやかな秋を楽しみたいものです。

武田 寿子

## 9月第一例会

9月第一例会はメンバー14人、ゲストビジター16人と30人の出席。6:30～宝塚ホテルゴールドの間でドライバーの長尾亘ワイズ司会で武田寿子会長の開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読、祈祷ではじまり、その後武田寿子会長から16人のゲスト、ビジターの紹介があった。報告事項として福田肇ワイズからはジャガイモファンドに関して、若林成幸ワイズからは今年のキャロルの夕べの案内があった。そして会食に移り、4テーブルでそれぞれ賑やかに会食を楽しんだ。

会食後今日のゲストスピーカーの戸倉信吉氏によるメインスピーチの時間へと移った。スピーカーの戸倉信吉氏は関西学院を卒業後朝日放送に

入社、5年間はアナウンサーとして活躍されたが、その後ディレクター、プロデューサーとして、「新婚さんいらっしゃい」や「おはよう朝日」などの番組を手がけ、多くの方々との出会いなどを通して人気番組へと仕立てて行かれた。退職後は幾つかの大学で講師として学生の指導をされた。



「スマホはあのペリーが持ってきた」との興味深い題。1854年にペリーが開港のためにお土産に持ってきた中にモールス信号があり、それこそ現在のスマホの原型だったとのこと。放送は1対1から始まり、1対n(無限数)、そして現在はn対nに。そのメリット、デメリットなどの具体例を示され社会問題を絡めてのスピーチは興味深かった。メディアに翻弄されている我々の現在の生活。いろいろ考えさせられた。

いつでもお呼びがかかればネタはいくらでも出てきますよとの嬉しい締めのお言葉も聞けました。谷川尚連絡主事からYMCAニュースをそしてゲストの武庫川がっこう事務局長大塚俊光さんからイベントのお知らせがあり、その後4人の方のお誕生祝いをし、武田寿子会長による閉会点鐘で例会は終了した。

帰りには今月のファンドの豚肉、今田和子メネット提供のTシャツをそれぞれ購入し、ファンド基金に貢献。

多胡 葉子

## 9月第2例会報告

9月20日(水)18時30分から9月第2例会を西公民館会議室で行った。出席者は、武田会長、多胡、石田、吉田、堀江、加藤、長尾、谷川主事、若林各メン。計9名。議事要旨は以下の通り。

### 1. 例会の運営 10月及び11月例会内容の確認

12月例会の日程変更等を協議した。

10月11日 WACC 茂木美知子氏・中道京子  
メネット主査のお話し

11月8日 15時30分～17時自立の家にて「音楽と福祉をつなぐ架け橋として」  
中村桂子氏(岩国みなみ)によるピアノ演奏とお話し。会場移動後、18時～20時 宝塚ホテルにて通常の例会。

神戸YMCA 井上総主事の新館完成報告と谷川主事からYMCAブランディングの説明を聞く。

12月例会 クリスマス行事との兼ね合いから例会日を振替え、  
第2例会を12月13日(西公民館)、  
第1例会を12月20日(宝塚ホテル)とし、学生・青年を数名(YMCA地球市民育成プロジェクト研修生・自立の家留学生等)を招待し体験談等を聞く。会費は通常例会と同じとし、ゲスト費用は「リーダー支援金」から支出。谷川・多胡メンから関係者に当たってもらう。

### 2. 各部会及び近隣クラブ記念例会の参加者確認

9/23 中西部会、9/24 六甲部会、  
10/1 九州部会、10/14 瀬戸山陰部会、  
10/28 西中国部会、  
11/5 びわこ部会。

12/23 芦屋クラブ 20周年記念例会、  
クロードチャリ・ギター演奏ほか(参加希望者は急ぎ予約のこと)

### 3. 第21回西日本区大会関連

大会 PR ツールとして長尾メンにより  
アピール動画を作成。部会・例会に活用が可能に。

### 4. ジャガイモ販売

10/21 9時。大林宅倉庫に入荷。  
昨年は天候異変による不作の為、  
販売数量を100箱減らしたが、今回は元に戻し400箱を販売。運賃が@30円値上げされたが、売値は2200円/10Kgに据え置く。完売を目指す。

### 5. チャリティーラン

11/3しあわせの村にて開催。出店はラーメン・ぜんざいとする。長尾・若林が不参加となるので、配車分担を事前調整のこと。10/2 準備会は多胡・福田メンが出席予定。

### 6. 宝塚クラブ 30周年記念事業

5月のバザー・6月の西日本区大会を見据えて、日程は3/21(祝)12時開催とする。記念礼拝、映像による30年史、軽音楽演奏、ポップン出演を軸にプログラムの具体化を急ぐ。

### 7. EMC 推進

ブリテン9月号掲載のEMC事業委員会の議事内容に基づいて意見交換。自クラブの自助努力は当然のこと、明石地区に新クラブ設立の構想におおかたが賛同。設立に必要なノウハウの有無、推進コアメンバーの確保面で慎重論もあった。次回の六甲部 EMC委員会にて協議の予定。

## 8. ブリテン 10 月号編集

日程・寄稿分担を長尾メンの編集計画にそって調整した。

## 9. 会計から支出計画

吉田メン提案の当面の支出計画を承認した。内、神戸 YMCA 建築募金の最終回分 10 万円は11月8日例会にて井上総主事に直接手渡すこととした。

書記 若林成幸

## プロフィール



茂木 美知子氏  
1950年生まれ。  
NPO 法人女性とこども支援  
センターウイメンズネットこうべ  
理事。2014年より専任  
WACCA 専任スタッフ



中道 京子氏  
神戸ワイズメンズクラブメネット  
2017～2018  
ワイズメンズクラブ国際協会  
西日本区メネット事業主任

## 西日本区 第 22 回各部会訪問

### 京都部部会報告



第 22 回京都部部会が 9 月 10 日(日)ウエスティン都ホテル京都で 3:00p.m.

より開催され、宝塚クラブより、多胡葉子、石田由美子、堀江裕一、福田宏子の 4 人が参加した。第 22 代京都部部长:竹園憲二ワイズ(京都 ZERO ワイズメンズクラブ)による“All Hands on Deck!”が主題として掲げられ、京都 19 クラブが乗船した竹園丸が大海原へと出航した日でもあった。

第一部はバナーセレモニーで幕が開き、第二部は「～クラブを超えて地域でも。 You Dig it!～」と題して、認定 NGO 法人日本災害救助ボランティアネットワークの理事長:渥美公秀氏と常務理事:寺本弘伸氏による「災害に対する心構え」等の講演に続き、グループに分かれて、防災マップを再認識する時間が与えられ、万が一の際に、役に立つのでは?と思われる貴重な勉強会であった。第三部の懇親会では、“Live is Best!”を標語に本格的な JAZZ に取り組んでおられる ADONIS JAZZ ORCH ～ギリシャ神話”美の男神“～による懐かしの名曲が披露され、円卓に並べられた数々の美味の料理に舌鼓しつつ、ハワイ、東京そして九州より 450 名のワイズメンが一堂に会し、楽しく会談しつつ、活気溢れる京都部 19 クラブのメンバーより多大な活力を得ることができた部会であった。

福田 宏子



## 阪和部部会報告



台風 18 号前触れの雨模様、9 月 16 日(土)12 時 30 分から阪和部部会が天王寺のホテルで行われ、部の会員・ゲストがほぼ半々の 140 名ほどが参加しました。開会セレモニーの後、食事タイム、我がテーブルに同席の奈良・和歌山・大阪サウス、長浜クラブのメンバーと親しくクラブの現状などを話し合いました。皆さんは何度かお会いしたことのある方々ばかりでした。肝心のお役目、西日本区大会への参加を呼びかけると、皆さん楽しみにしておられるようで嬉しく思いました。食事の後は「みんなで歌おう」で昔懐かしい歌謡曲を歌い、その後、EMC をテーマに 15 分程の話し合いの時間がテーブル毎に行われました。

最後はアピールタイム。勉さんのお歌にはじまり石田実行委員長が、笑顔で浣刺と「神戸で会いましょう」を連呼。何度聞いても素晴らしい話法。誰しもが「神戸へ行こう」と思ったことでしょう。

若林 成幸

## 中部部会&

## 金沢クラブ創立 70 周年記念式典報告



2017 年 9 月 18 日(月・祝)、金沢ニューグランドホテルで開催された中部部会及び金沢クラブ創立 70 周年記念式典に出席しました。週末からの台風ニュースにハラハラでしたが、幸いサンダーバードは定刻運行、金沢のお天気も爽やかで中部にはお天気男子、女子が多いと確信しました。

部会での記念講演は加賀友禅作家、毎田仁嗣氏。まだ 43 歳の若い三代目ですが数々の賞や新幹線金沢駅でのディスプレイなどメジャーな活動をされています。

加賀友禅は全て手作り、一点もののためあれだけの高額な値段がつく、と納得しました。

懇親会では今年の六甲部の重要業務、来年の西日本区大会アピールをさせて頂き和やかな時間を楽しみました。

70 年の歴史を持つ金沢クラブはメネットクラブもあり、又、今期山内ミハル部長を輩出されて中部の花組だ、と秘かに感じた次第です。

帰りの列車は六甲部に小田哲也九州部部長を交えあつと言う間に大阪着。こう言う交わりもワイズならではの楽しさです！

石田由美子

## 中西部部会報告



今年度中西部部会が9月23日13時よりホテルグランヴィア大阪で開かれ、宝塚クラブから多胡、若林、堀江の3名が出席しました。出席者は約150名、盛況でした。第1部式典に続き、第2部は山田真知子氏による講演「平和の使者 青い目の人形」でした。

90年前、昭和2年のこと、日米親善を願ってアメリカから送られてきた約13000体のアメリカ人形、(歌いつがれてきた青い目をしたセルロイドの人形ではないそうです)その答礼として日本から送られた豪華な58体の日本人形のその後やいかに、長い過酷な日米関係のなかで、今アメリカ人形は全国に凡そ360体が残っていることが判っているそうです、うち兵庫県内には11体が確認され、山田さんはそのすべてを実際に見に行かれ、今日まで無事に残されてきた数奇の運命とそれを守り抜いてきた人たちのことを取材されたとのこと。お話しぶりがまことに洗練されていてとても興味深いものでした。何時か宝塚クラブでも話していただきたいと思いました。第3部懇親会では「バックウッズ・マウンテニアーズ」のバンド演奏のなか、にぎやかな楽しい会食でした。

六甲部メンバーによる西日本大会のアピールは石田実行委員長が不在でしたので、多胡副委員長が元気よくその任を果たされました。

堀江 裕一

## 六甲部部会報告



## メネットアワーに参加して

9月24日に開催された六甲部部会に先立ち、メネットアワーが神戸 YMCA 三ノ宮会館3階で開催された。六甲部各クラブからは勿論他部からも合わせて60人の参加。宝塚からは石田由美子、福田宏子、多胡葉子各ワイズ3人の参加。今期の西日本区メネット主任は神戸クラブ中道京子メネット。六甲部メネット主査はさんだクラブの松本美耶子ワイズ。そして同クラブの安行暁子ワイズの司会で進められた。中道京子メネット主任の今期の事業方針に基づき「子どもの貧困」学びと話し合いというテーマで会が進められた。

まず、NHKが放映した映像～私たちのこれから「子どもたちの未来」—の約30分のDVDなぜ「子どもの貧困が問題となるのか」ということを取り上げた番組だった。映像から私は2つの事柄が印象に残った。一つ目は子どもの貧困を放置した場合格差の問題、税金の問題、年金の問題、医療保険の問題など社会全体に影響が及ぶということ。二つ目は就学前の幼児の教育の大切さが社会を豊かにすると実際のデータにより説明されたこと。YMCA活動のサポートクラブとしてのワイズ、メネットがともに協力しあって未来を担う子どもたちが希望を持てる社会にしていくためにどのような支援ができるかを一同で改めて考えさせられたメネットアワーであった。

今期のメネットの100万円の献金は子どもの貧困にかんして支援をしている団体を各部から1団体選び支援金としてお渡しするというところで、この場でも献金袋が回ってきた。また、物品販売などもあり、その売り上げも加算されるとのこと。写真撮影を終え、六甲山縦走お弁当を賞味して、六甲部会の会場である2階の神戸YMCAチャペルへと移動した。

多胡葉子

## 【今月のみ言葉】

パウロはここで、人生の最終的な目標に向かって突き進もうとしている自らの生き様を、競技場を疾走するランナーの姿になぞらえて表現しています。すなわち、目標に向かって進もうとする者がなすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、全身を前に向けつつ、目標を目指してひたすら走り続けることだということです。

ここでいう「後ろのものを忘れる」とは、自分にとって都合の悪い過去を消し去るとか、思い出したくない過去をうやむやにするということではなく、過ぎ去った過去のものには捉われないということです。そして、まさに短距離走者が後ろのものに気をとられずに全身を前に集中させるように、パウロ自身も前に向かって全身を傾け、目標を目指して走り続けるのだと語っているのです。実は、パウロはこの手紙を獄中で書いたのですが、そのように、彼自身の肉体は囚われの身であって、その思いは目標に向かって疾走するパウロの熱い思いがここには伝えられています。

現代に生きる私たちにとっても何らかの目標をもつことはとても大切なことです。実際、目標を失うと私たちの歩みはおのずと止まってしまいますし、自分はすでに目標に達したと考えている人に充実した歩みは望めそうにありません。事実、私たちそれぞれが目標への途上にあるのであり、日々新たな目標に向かって歩み出していくべきなのです。そのことを覚えて、自らの目標に向かって一歩ずつ歩みを進めていくことができればと思います。

嶺重 淑



## YMCA だより



10月、YMCAの暦で言えば1年のちょうど折り返しとなります。バザーやチャリティーラン、行事が多くなる時期でもありますが、今年はブランディングの公開も10月からということもあり、様々な機会にYMCAを表出していこうと計画しています。

ブランディングはこれまでも折に触れて説明をさせていただいてきた通り、日本のYMCAがひとつのものであるという証、同じ思い・願いの中で歩んでいることを確認するものであり、この機会にマークなど表出するアイテムも同じものとして歩んでいきます。「みつかる つながる よくなっていく」というロゴに書かれている言葉は、まさにどのYMCAでも、どのYMCAにつながっている人も感じているYMCAのイメージでしょう。ワイズの皆さんとも協同する中で、地域の人々にとってYMCAが「みつかる つながる よくなっていく」場となるよう歩めるお力添えをください。



今後の予定

### 1. 阿部志郎先生講演会

すでに8月例会でもご案内しましたが、まだ若干空きがあるそうです。ご都合がつく方はぜひ。

内容:私の福祉感

日程:10月28日(土)13:00~15:00

場所:神戸YMCA三宮会館2階チャペル

定員:100名 会費:500円(資料代)

申込は神戸YMCA本部事務局(078-241-7201)まで

### 2. 西宮YMCAバザー「Yわいカーニバル」

西宮YMCAで恒例のバザー、お祭りを行います。すでに西宮ワイズの方々からはラッキー抽選券販売のセールスをされた方も多いでしょうが、ぜひ大いに盛り上げていただければと思います。ぜひ顔を出していただければ幸いです。

日程:10月22日(日)10時30分~14時30分

場所:西宮YMCA

参加申込不要、現在寄贈品募集中です!!

### 3. YMCAセミナー2017

YMCAは1844年にロンドンで誕生して以来、世界の変容、そこに生きる人々とともに歴史を重ねてきました。これから私たちはどのようにその柱である「Christianity」をとらえ歩んでいくのか? 日本のYMCAのリーダーシップをとられる3名の方と語り合う時間を持ちます。

日程:11月18日(土)13:00-15:00

場所:神戸YMCA三宮会館チャペル

内容:村上祐介氏(ぐんまYMCA総主事)

神崎清一氏(日本YMCA同盟総主事)

井上真二氏(神戸YMCA総主事)による

鼎談

申込・参加費不要

### 4. 神戸YMCA学院専門学校 生活備品のお願い

神戸YMCA日本語学科は秋より新たに40名の留学生を迎えましたが、神戸の生活を少しでも快適に始められるように留学生に生活備品を配布しています。ご自宅に眠っている新品の食器やタオル、洗剤、ハンガーなどがございましたら寄贈くださいますようご協力お願いします。

受付:10月4日まで

問い合わせ先:神戸YMCA学院専門学校

日本語学科(078-241-7204)まで



## 第21回西日本区大会 実行委員会コーナー

第9回実行委員会が2017年9月25日(月)開催。前日は六甲部部会で予想以上の参加者を迎え少し疲れ気味の委員達でしたがものともせず、具体的な決め事に取り掛かりました。各委員会が積み残している項目を再チェックし近々小委員会を開き空白部分を塗りつぶして行く事を決定。早速会場委員会が出店ブースの設置について来月委員会を開きます。各クラブファンドレイジング活動が活発になっていますが9階ホワイエに幾つのブースが可能か、広さはどの位とれるか、など現場を見て来年1月から募集に入ります。又、当日、ホテル外部での道案内も会場委員会の担当です。幸い、新神戸駅直結と言う恵まれたアクセスのお蔭で地下鉄と新幹線対応で済みそうです。とは言え多くの手が必要な事は明らかです。六甲部全員の協力が必須科目です。



又、3分間のミニプロモーションスライドの有効活用を話し、まずは各クラブ例会で流すと決めました。長尾、重松両ワイズと何かにつけヘルプして下さる川副良太さんのお働きに感謝です。

実行委員長石田由美子